

移動に関するアンケート調査結果についての報告

1. 調査の概要

青谷町では現在、民間路線バスと市が運行している鳥取市有償バスが運行していますが、通学目的以外の利用者が少なく、運転者不足等の問題から近い将来、民間路線バスの維持・存続が困難になることが予想されています。このような状況を踏まえ、今年度から青谷地域に適した移動手段確保策の検討を進めています。

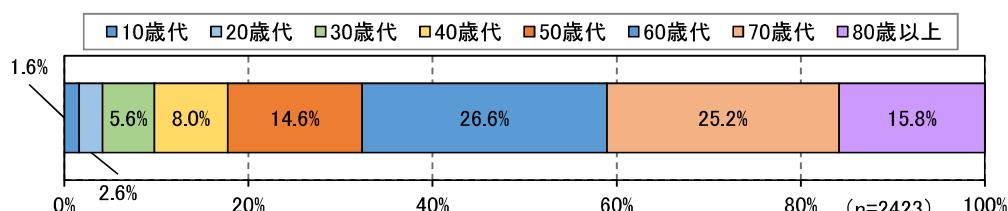
今回ご協力いただいたアンケート調査は、皆さまの移動実態や移動手段確保策に対するお考えを把握し、将来的な移動手段確保策検討に向けた基礎資料を得ることを目的に実施しました。

調査対象	青谷町に居住している方（中学生以上）
調査方法	自治会を通じた配布・回収（実施期間：令和2年9月～10月）
回収状況	配布数：6,132部（2,044世帯に3枚ずつ配布） 回収票：2,433部 回収率：39.7%

2. ご回答いただいた方の属性

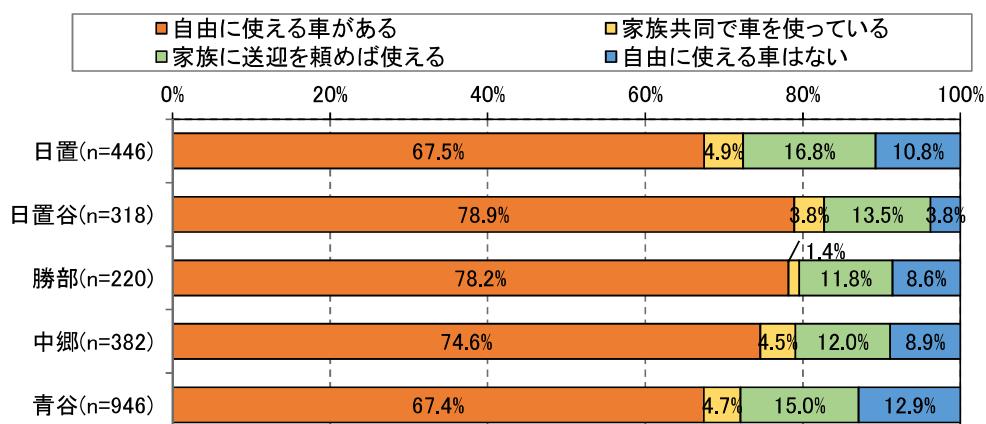
（1）回答者の年齢層

- 60歳以上の回答者が全体のおよそ7割を占めています。



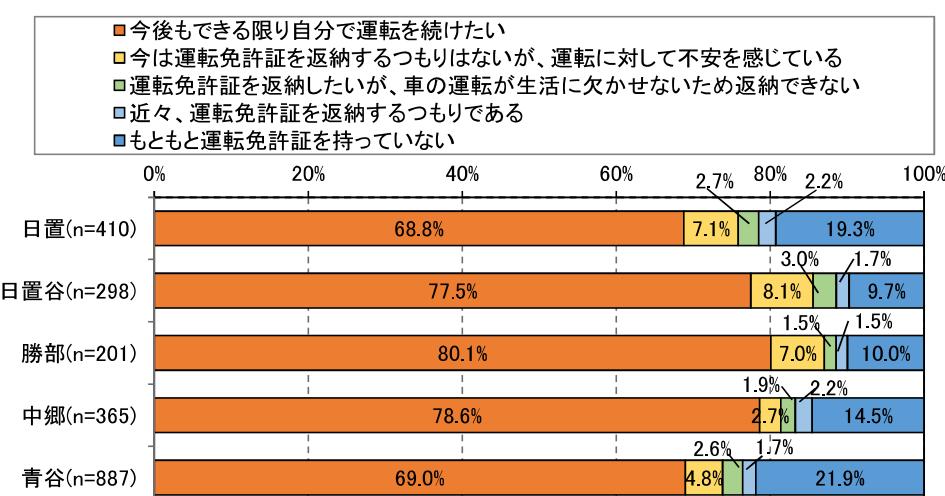
（2）自由に使える車の有無

- 日置谷以外の地域では、およそ1割の人が自由に使える車を持っていません。



（3）運転免許証返納の意向

- 日置や日置谷、勝部では、車の運転に不安を感じている人や、運転に対して不安を感じている人の割合が他の地域より高くなっています。
- もともと運転免許証を持っていない人の割合を地域別に見ると、日置や青谷で割合が高くなっています。

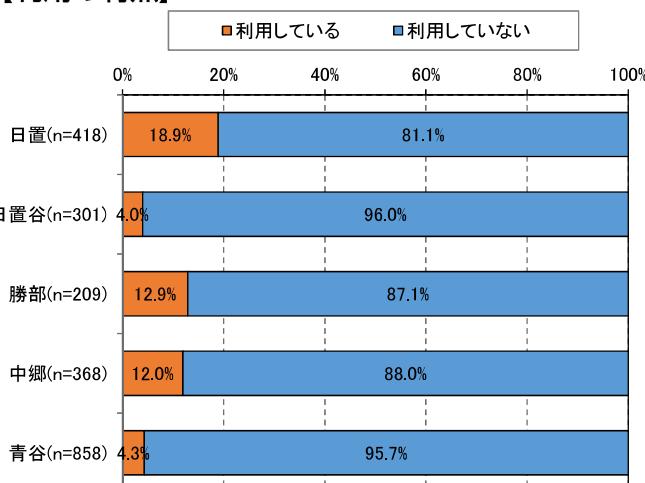


3. 外出（通院・買い物）の状況や移動の実態

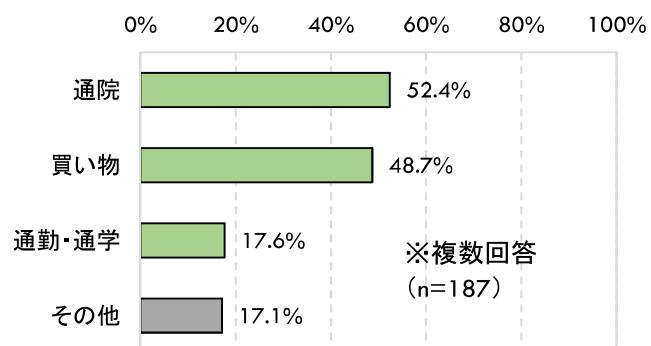
(1) 路線バスや市有償バスの利用状況

- バスを利用している人の割合を地域別に見ると、日置や勝部、中郷の割合が高くなっています。
- 買い物よりも通院の際にバスを使う人が多いです。
- 利用していると回答した人のうち、「月に1～2回」利用している人が45%を占めています。（自由に使える車を持っていない人に絞った集計でも、割合は大きく変わらず）

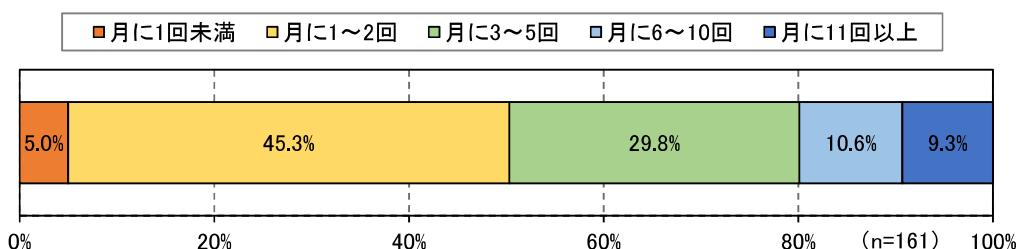
【利用の有無】



【利用目的（利用している人のみ）】



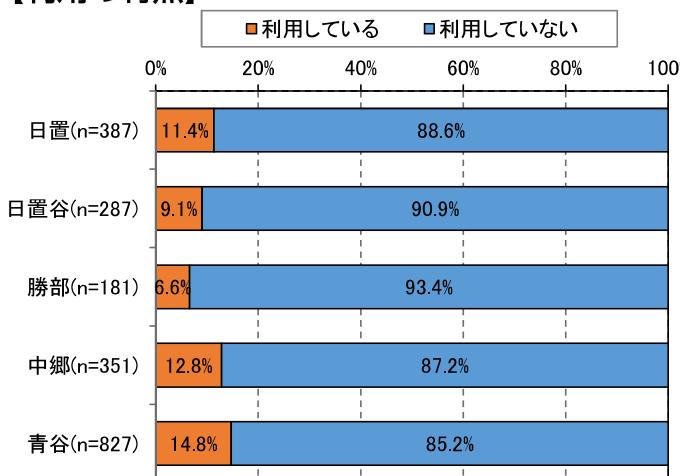
【バスの利用頻度（利用している人のみ）】



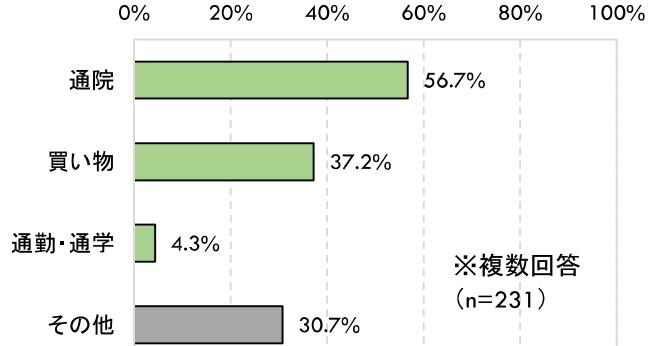
(2) タクシーの利用状況

- タクシーを利用している人は回答者のおよそ1割で、地域別に見ると青谷の割合が高く、勝部の割合が低くなっています。
- バスと同じく、通院目的で利用する人が多い状況です。

【利用の有無】



【利用目的（利用している人のみ）】



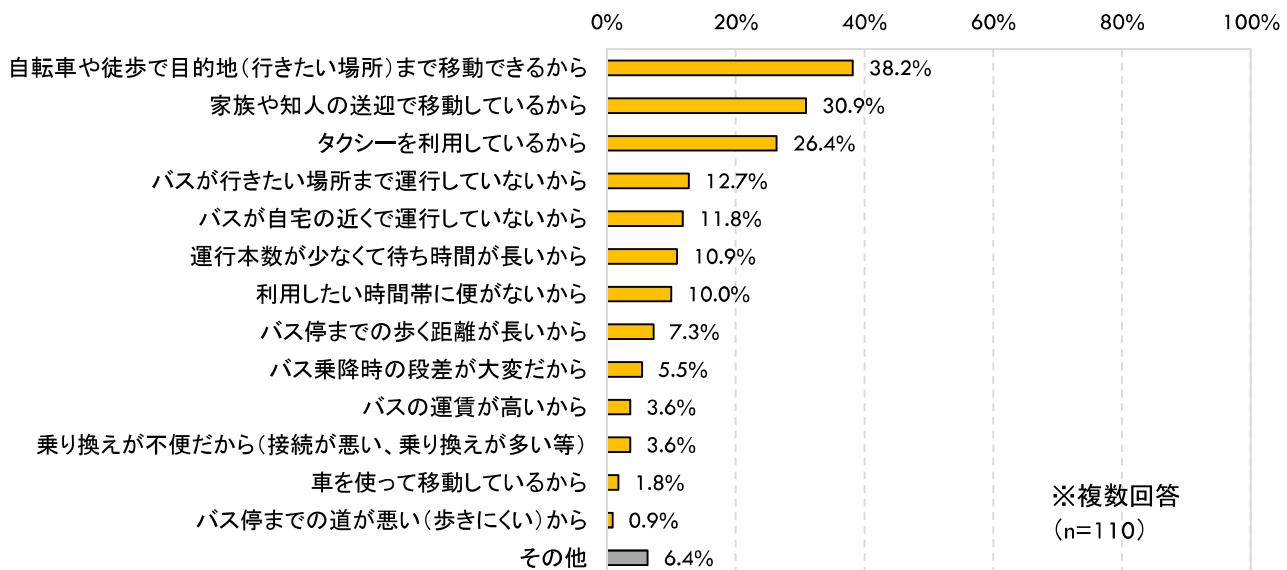
(3) よく行く通院先・買い物先

- よく行く通院先・買い物先とともに青谷地域内の医療機関が比較的多く挙げられました。
- 通院先に比べて買い物先は、地域外の商店が比較的多く挙げられており、特に気高地域への移動実態を確認しました。また、通院・買い物とともに、市外（倉吉市や湯梨浜町）に行く人が一定数います。

よく行く通院先（回答件数の多い施設を抜粋）	よく行く買い物先（回答件数の多い施設を抜粋）
<地域内>	<地域内>
福永医院 326 件	サンマート青谷店 1,390 件
石田医院 235 件	ウェルネス青谷店 586 件
田中医院 199 件	その他青谷町内（店名未記入含む） 76 件
宮田歯科医院 31 件	
その他青谷町内（施設名未記入含む） 207 件	
<地域外（市内）>	<地域外（市内）>
鳥取県立中央病院 113 件	エスマート浜村店（気高） 258 件
鳥取赤十字病院 71 件	エスマート店名未記入 128 件
鹿野温泉病院 36 件	イオン鳥取北店（旧市域） 258 件
鳥取生協病院 31 件	サンマート湖山店（旧市域） 41 件
上山整形外科医院 26 件	カインズ FC 鳥取店（旧市域） 45 件
<地域外（市外）>	<地域外（市外）>
倉吉市の医療機関（施設名未記入含む） 60 件	ラム一倉吉店（倉吉市） 44 件
	JA グリーンハワイ夢マート（湯梨浜町） 29 件
	新あじそうハワイ店湯梨浜町（湯梨浜町） 22 件

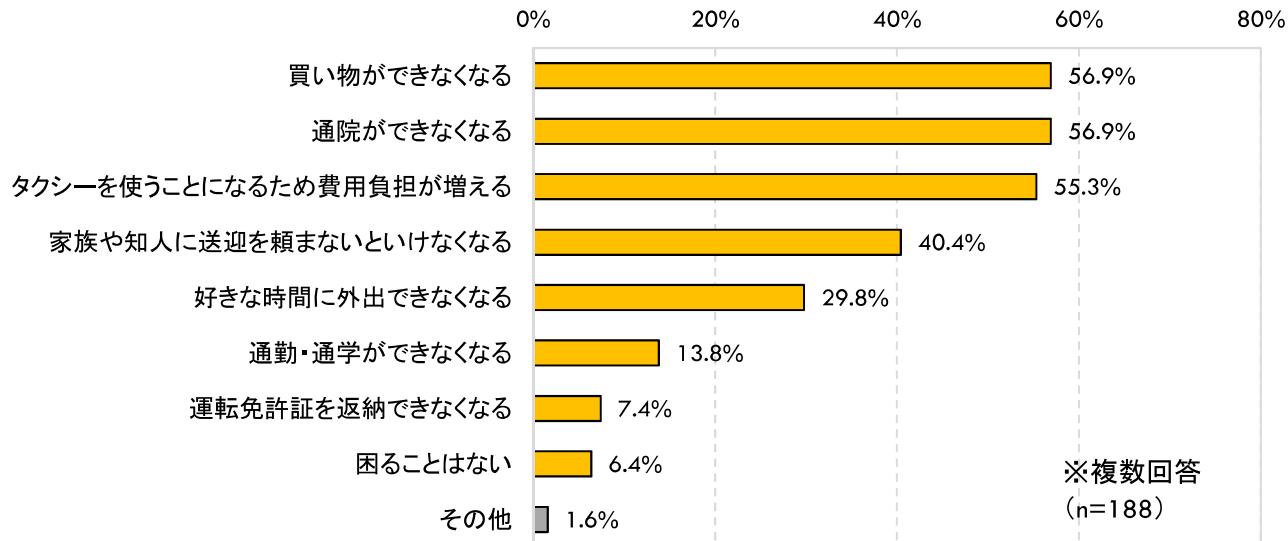
4. バスを利用していない理由（自由に使える車がない人に絞った集計）

- 自転車や徒歩で移動できることや、送迎してもらえること等、バス以外の移動手段で移動できていることが回答として多く挙げられました。
- 一方で、「バスが行きたい場所まで運行していない」「バスが自宅の近くで運行していない」「運行本数が少なくて待ち時間が長い」「利用したい時間に便がない」といった生活交通のサービスや運行内容に関連した理由を挙げている人が回答者（110 人）のおよそ 1 割います。



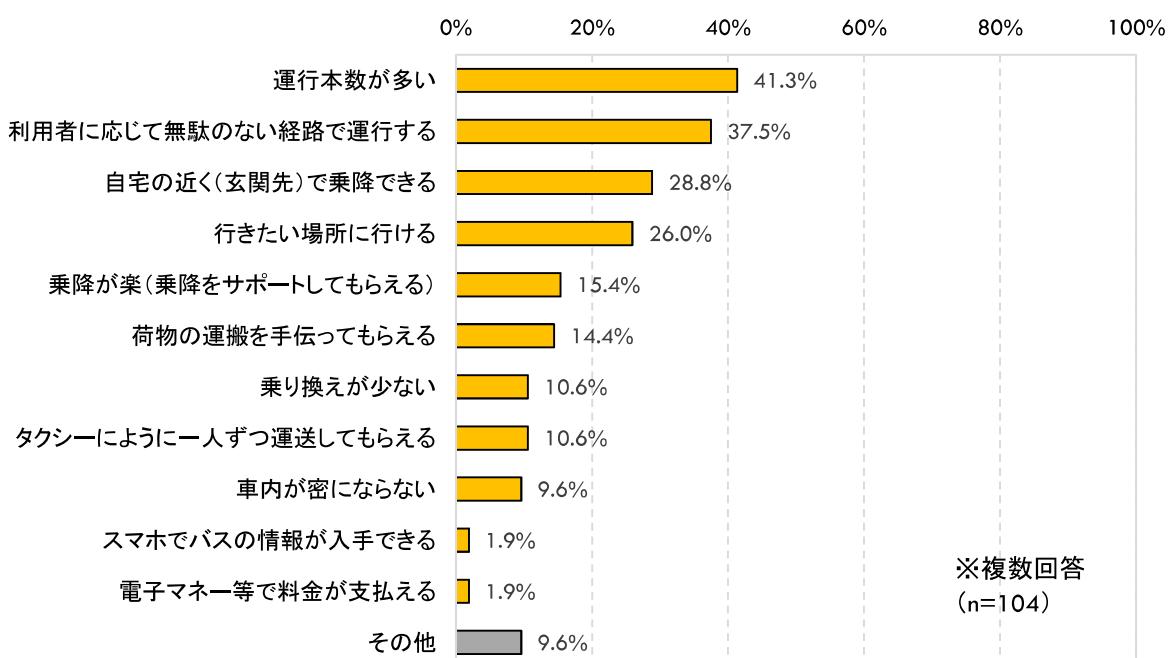
5. 日中の路線バスが無くなつた際に困ること（バスを利用している人に絞つた集計）

- 「買い物ができなくなること」「通院ができなくなること」が最も多く、次いで「タクシーを使うことになるため費用負担が増える」が困りごととして挙げられています。



6. 日中のバスがどのような運行になれば有難いと思うか（自由に使える車がない人に絞つた集計）

- 「運行本数が多い」と「利用者に応じて無駄のない経路で運行する」の割合が高くなっています。
- 全回答者で集計した結果では、「利用者に応じて無駄のない経路で運行する（およそ 44%）」の割合が高く、バス利用者に絞つた集計では「運行本数が多い（およそ 56%）」の割合が最も高くなっています。

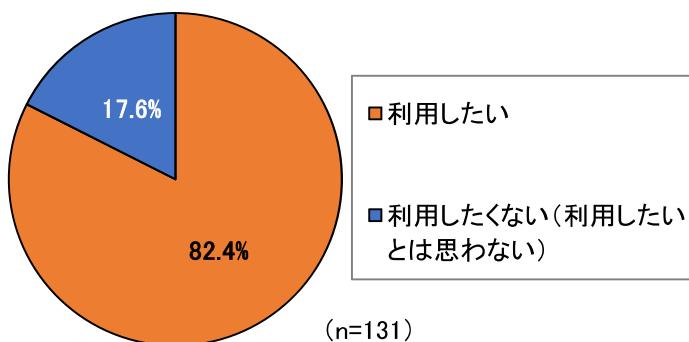


7. 自宅の近くでバスに乗降できるようになった場合の利用意向

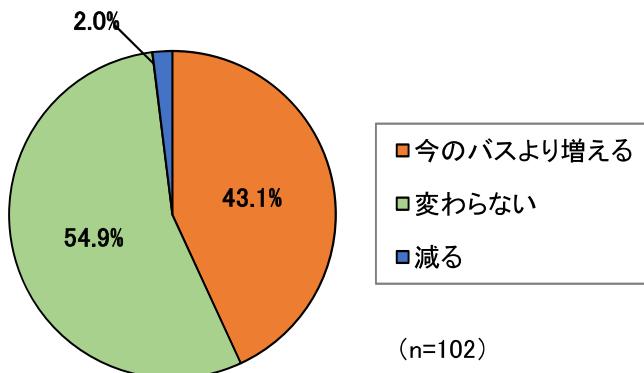
(自由に使える車を持っていない人に絞った集計)

- 自由に使える車を持っていない人のおよそ 8 割が「利用したい」と回答し、「バスより利用が増える」と回答した人はおよそ 4 割います。
- 支払っても良い金額は「300 円」が最多く、およそ 4 割を占めています。

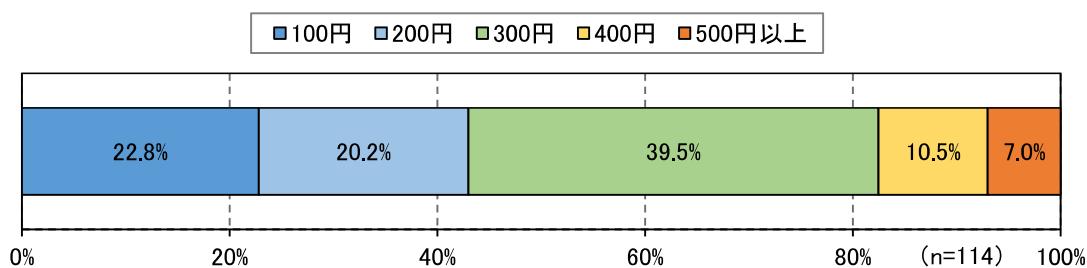
【利用の有無】



【利用回数】



【支払ってもよいと思う金額】

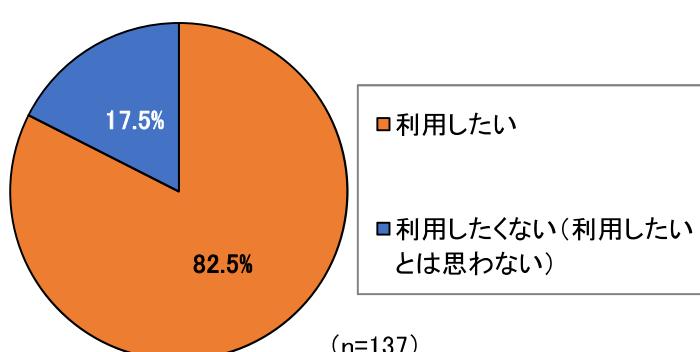


8. 自分の好きな時間にバスに乗降できるようになった場合の利用意向

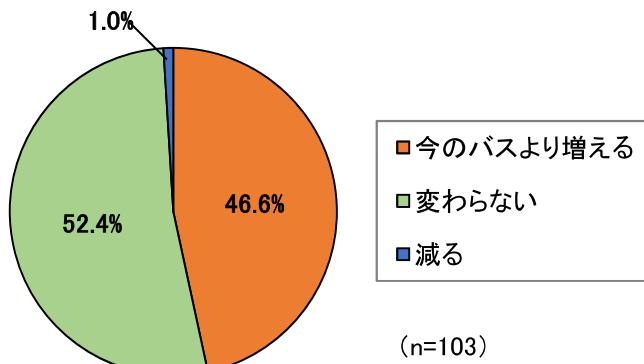
(自由に使える車を持っていない人に絞った集計)

- 利用の有無や利用回数は、自宅の近くでバスに乗降できるようになった場合と同じ傾向が見られました。
- 支払っても良い金額は 300 円がおよそ 3 割を占めています。

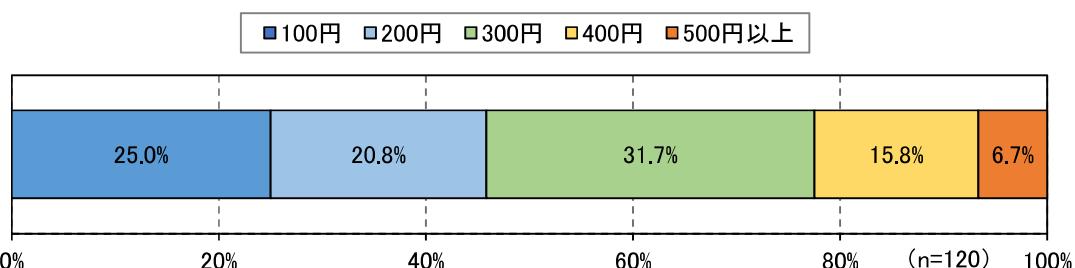
【利用の有無】



【利用回数】



【支払ってもよいと思う金額】

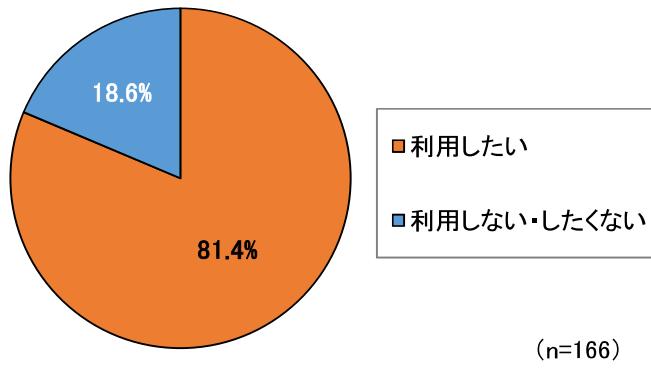


9. タクシー運賃の割引制度が今後できた場合の利用や支払い額の意向

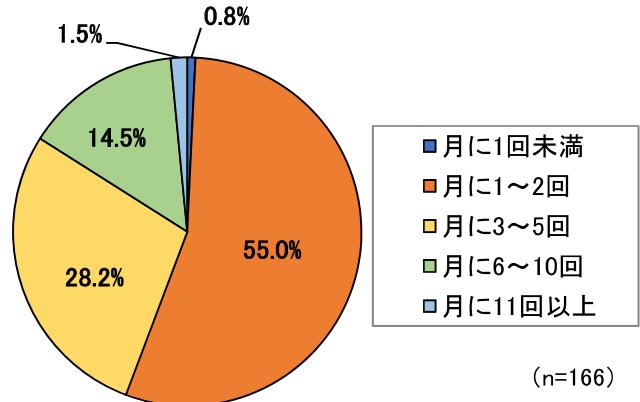
(1) タクシー運賃の割引制度ができた場合の利用意向（自由に使える車を持っていない人に絞った集計）

- 利用したいと回答した人の割合はおよそ8割で、
- 利用する場合の回数は「月に1~2回」が自由に使える車を持っていない人の55%を占め、45%は月に3回以上は使うと回答しています。

【利用の有無】



【利用回数】



(2) タクシー運賃の割引制度を使って行きたい外出先（自由に使える車を持っていない人に絞った集計）

- タクシーを利用して外出したい場所としては、青谷地域内が比較的多く挙げられています。

タクシーで外出したい場所	人数
青谷町内	22
サンマート青谷店	20
JR青谷駅	17
医療機関	17
サンマート店舗不明	16
鳥取市内	10
商業施設(場所不明)	10

※10人以上ののみ
(n=109、複数回答)

(3) 行きたい外出先まで支払ってもよいと思う金額・自己負担額（全回答者）

- 支払ってよいと思う金額としては、「400円」が多いです。
- 地域によって傾向が異なっており、日置や勝部は他の地域に比べ、「800円」や「1,000円」と回答している人の割合が高くなっています。

地域	日置	日置谷	勝部	中郷	青谷
200円	17.7%	36.4%	16.0%	33.7%	38.0%
400円	32.5%	42.2%	45.7%	34.7%	28.3%
600円	21.5%	18.8%	23.4%	20.1%	17.3%
800円	11.4%	5.2%	10.6%	9.5%	7.8%
1,000円	30.4%	17.5%	34.0%	22.1%	24.1%
1,500円	9.3%	2.6%	3.2%	7.0%	5.4%
2,000円	6.8%	3.2%	7.4%	4.5%	10.5%
2,500円	5.1%	5.2%	3.2%	2.5%	3.4%
3,000円以上	5.9%	6.5%	4.3%	2.5%	6.8%
回答者数(人)	237	154	94	199	410

10. 「共助交通」について利用や協力の意向

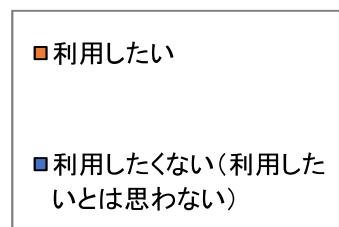
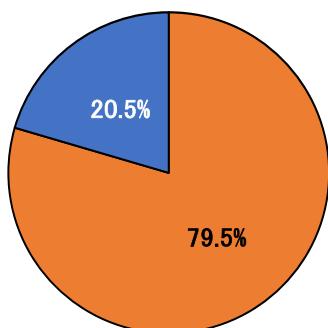
共助交通（公共交通空白地有償運送）とは

地域の移動手段（バスやタクシーなど）が確保できない場合に、NPO 法人や地域組織などの団体（地域住民）が自家用車両を使用し、有償で運送する運行形態。地域住民が主体で運行するため、きめ細やかな運行計画を立てることができます。（現在、末恒地域や大和地域で導入済）

（1）共助交通が運行した場合の利用意向（自由に使える車を持っていない人に絞った集計）

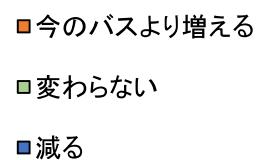
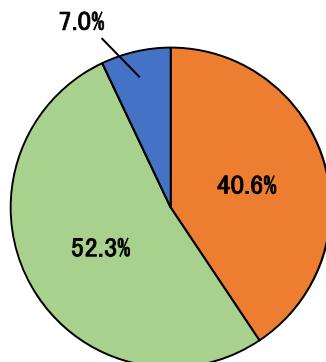
- 利用したい人はおよそ 8 割で、およそ 4 割が「今より利用機会が増える」と回答しました。

【利用の有無】



(n=166)

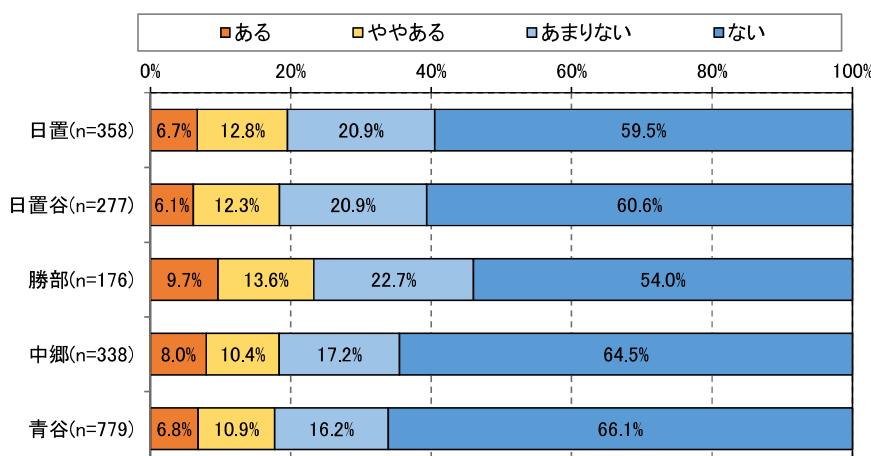
【利用回数】



(n=128)

（2）共助交通に対するドライバーとしての協力の意向（全回答者）

- 共助交通に対するドライバーとしての協力（有償）の意向を地域別に見ると、「ある」「ややある」の割合は勝部が若干高くなっています。



11. 調査結果のまとめ

今回のアンケート結果を基に、青谷地域に適した移動手段の検討を進めています。なお、アンケート調査結果から把握した地域の特徴や今後の検討において留意する点は以下のとおりです。

車の運転や運転免許証の保有状況	<ul style="list-style-type: none">■ 青谷地域全体で、現在車を持っているが運転に対して不安を感じている人が一定数いることから、運転免許証返納後でも自立（安心）して移動できる仕組みを作ることが必要である。
バスの移動状況	<ul style="list-style-type: none">■ 青谷地域では、バスやタクシーは買い物や通院目的で利用している人が多い。（買い物目的に比べ通院目的で利用する人が多い）■ 利用の有無の割合を地域別で見ると、バスを利用している人は日置や勝部、タクシーを利用している人は青谷が比較的高くなっている。
お出かけの状況	<ul style="list-style-type: none">■ 通院や買い物は、地域内（青谷町内）の施設に移動している人が多い。■ 通院では市の中心部（旧市域）、買い物では気高地域（浜村町）の施設へ移動している人が一定数いる。
日中のバスにおける改善や改善した場合の利用意向	<ul style="list-style-type: none">■ 無駄のない運行（効率的な運行）や一定の便数の確保について、新たな移動手段検討にあたり留意する必要がある。■ 「自宅の近くでバスに乗降できるようになった場合」「自分の好きな時間にバスに乗降できるようになった場合」の利用意向を確認（およそ4割の人が今のバスよりも利用すると回答）
タクシー運賃の割引制度ができる場合の利用意向	<ul style="list-style-type: none">■ 利用したい人の割合（利用意向）は、「自宅の近くでバスに乗降できるようになった場合」「自分の好きな時間にバスに乗り降りできるようになった場合」と同程度■ 地域によって支払っても良いと思う金額（自己負担額）は異なっている。
共助交通の利用や協力の意向	<ul style="list-style-type: none">■ 利用したい人の割合（利用意向）は、「自宅の近くでバスに乗降できるようになった場合」「自分の好きな時間にバスに乗り降りできるようになった場合」や、「タクシーの運賃割引制度ができる場合」とほぼ同程度（若干低い）■ ドライバーとしての協力の意向について、地域間で大きな差はない。

ご協力ありがとうございました。